



保健室だより

令和4年 12月7日
鳥取東高等学校
保健室



12月に入り、少しずつ冬に向かう足音が聞こえる季節となりました。学校では、感染症対策の徹底を図るため、教室の換気を常時心がけています。そのため、暖房使用時も、校内の冷え込みが予想されますので、登下校も含め暖かい服装で登校するよう心がけて下さい。

12月1日の「世界エイズデー」にちなみ、11月29日、30日の2日間、生徒玄関において保健委員によるエイズキャンペーンを実施しました。HIVウイルスは感染力が弱く、普段の学校生活の中で感染する心配はありません。また、医療の進歩により、エイズの発症を抑える薬を飲みながら普通に働いている人が、世の中にはたくさんおられます。この機会を通し、エイズについて正しい知識をもち、差別や偏見のない社会の実現に向けて、引き続き協力をお願いします。この機会に合わせ、関連図書や啓発パネルを図書館で展示しています。12月9日（金）までの展示としていますので、併せてご覧ください。



【生徒保健委員によるエイズキャンペーンの様子】



【図書館の展示】

本年度新しい取組として、1年生を対象とした「がん教育講演会」を11月16日（水）に開催しました。日本人の2人に1人が一生の内にがんにかかる可能性があると言われており、それだけに、がんは身近な病気の一つと言えます。当日は、保健指導士の講師の方から、生活習慣の大切さや喫煙の害などをわかりやすく説明してもらいました。

生徒の感想を一部抜粋して紹介します。

- ・がんについて正しい知識を今のうちから身につけて、関心を持っておくことが大切だと感じました。（1組生徒）
- ・若い頃からの積み重ねが症状として出てくるのが分かったので、規則正しい生活をしたいです。（3組生徒）
- ・私も含め、多くの学生が毎日スマホやテレビを利用しているので、そのちょっとした習慣が将来、がんになる確率を高めていると思うととてもこわかったので、見直そうと思いました。（6組生徒）

